

梁川ホームだより

●平成21年4月23日発行

No.
26

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 岡崎 康之
福島県伊達市梁川町字東土橋65-1 TEL 024(577) 6111㈹ FAX 024(577) 6115
ホームページアドレス <http://www.shintatsu.jp> メールアドレス yanagawa@shintatsu.jp

事業内容

- 特別養護老人ホーム 定員 80名
- 短期入所生活介護
(ショートステイ) 定員 20名
- デイサービスセンター I型
- デイサービスセンター II型
- 地域包括支援センター
- ケアハウス 定員 30名
- 指定居宅介護支援事業所

総合老人福祉施設
(梁川ホーム運営理念)
安全・安心・ゆとりの

梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
2. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

祝
開所記念
2009.4.10

早いもので 12周年を迎えました



温暖化なのでしょう、ホームの
桜も開所時よりも早く咲くようになりました。

桜の見える場所で、12周年を迎えた梁川ホームの開所記念セレモニーは来賓の方々をお迎えして行われました。

梁川ホームの開所記念の日には、何をおいても駆けつけてくださる、梁川女声コーラスの皆様、そして、ボランティアひろせの皆様には、今回もお世話になり、本当にありがとうございました。

新年度を迎え、私たち職員は、気持ちを新たに頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



特集25「人間尊重の施設づくりに向けて」

梁川ホーム運営理念の具現化への第一歩

厚生労働省の調査によれば、戦後の昭和22年から24年に生まれた人たちが65歳以上となる2015年（平成27年）、高齢者の人口は65歳以上で3,277万人（総人口の26%）、75歳以上の後期高齢者の人口は1,574万人（総人口の12.5%）に達すると言われています。

この高齢者の人口増加に比例して、なんらかの認知症の症状を抱える高齢者の人口も増えていき、2015年には250万人、2025年には323万人となる見込みの推計がなされています。厚生労働省ではこの将来推計から、介護保険サービスを利用する要介護（要支援）認定者に占める、認知症高齢者の割合の増大をかみ、認知症高齢者への支援

これから認知症高齢者介護

介護を今後の高齢者介護の標準としていくという考えを、各自治体を通して全国の高齢者介護に携わる関係機関に示しています。

梁川ホームにおける認知症高齢者介護の動き

梁川ホームではいち早く、認知症高齢者介護の重要性を深く受け止め、積極的な考え方のもとに福島県認



認知症介護プロジェクトのメンバー

知症高齢者介護事業に対する協力を決定、介護の要職にあつた職員に認知症高齢者介護指導者養成研修を受講させ、研修の終了後、県の認知症高齢者介護研修の指導者となつた同職員の実践をもとに県の研修に近い内容で、職員を対象に認知症高齢者介護の研修を毎年実施してきました。また、梁川ホーム全体で認知症介護プロジェクトを立ち上げ、認知症高齢者介護について学習・実践に取り組み、職員一人一人が認知症介護に対する理解を深めることにより、厚生労働省が示した「認知症高齢者介護を今後の高齢者介護の標準とする」という考えを当然のこととする土台を築いてきたと自負しています。

これは、梁川ホームが掲げている、ご家族、地域の皆様との連携を密にし、温かい家庭的環境を目指すという運営理念を、実際の形として実現していくことであります。

梁川ホームにおける認知症ケアの取り組み

新年度の取り組みとして

梁川ホームの新年度事業計画の中では、これまで積

み重ねてきた認知症の知識や実際の高齢者への介護の方法を、このまま施設だけのものとしないで、利用者のご家族はもとより、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターの職員と連携を取りながら、地域の皆様に情報として発信していくことを重要な計画の一つとして位置づけています。

「認知症になつても大丈夫」な町をつくるには、地域のみなさんの理解と支えが必要です。

早期発見、早期治療が大切

本人が気づかなくても、周りの人が「ちょっと変だな」「いつもと違うな」というサインを「大したことない」と見逃さないことが大切です。

認知症のサインの例

- 同じ質問を繰り返す。
- 置き忘れ、しまい忘れ。
- つかみどころのない話をする。
- 身だしなみを気にしなくなる。
- 毎日同じ買物をする。
- これらは本人からのSOSのサインです。ちよつとした手助けや声かけなど、さりげないやさしさが支えとなります。

介護をする家族の負担

認知症の方から「ご飯を食べさせてもらえない」「家族に財布を盗まれた」など、家族を攻めるようない言葉が聞かれることがあります。

また、徘徊や不眠、異食など、介護をする方が休まらない状況になり、精神的に追い詰められてしまうこともあります。

介護する家族は周りの人々に相談したくても、「ご近所に迷惑を掛けているのではないか」と遠慮したり、認知症に対して理解しても理解し難いのではないかと、逆に抱え込んでしまう場合があります。そうなると心身ともに疲れ果ててしまいま

るためには、地域の皆さんの見守りや気づきが大切です。



「介護は、家族だけです」
ものではありません

介護疲れから、虐待などの悲しい事件につながることがあります。そのようなことが起らないようにするために、見守りや気づきが大切です。

地域の皆さんとの理解と支えがあれば、認知症の人もその家族も、安心して自分らしい生活を続けることが出来ます。

安心して暮らせる町をつくるために

認知症になつても安心して暮らせる町をつくるために、認知症を理解し、認知症の人やその家族を見守り、支える「認知症サポート」を育てる運動が行われています。認知症の人のボランティアは、「認知症サポーター」を育てる運動を行わています。認知症の人の理解者であり、応援者です。各地域で認知症サポート養成講座が行われています。他人事として無関心ではなく、安心していつもでもこの町で暮らせるように、一人ひとりが認知症を正しく理解するいい機会です。参加されてはいかがでしょうか。



講習会
認知症コミュニケーション学



自治体で「認知症サポート100万人キャラバン事業」を開催しています。この事業では認知症サポート養成講座を開いています。認知症サポートのオレンジリングが配布されます。

町内でオレンジリングをつけている方を見かけたら、お気軽に声をかけてください。



**認知症サポートの
オレンジリング**



賀寿のお祝いを受けて、「ありがとうございました」と語る江川さん



川ハル様の百歳賀寿のお祝いがありました。賀寿贈呈式の前に、ご家族をお招きして、施設職員も参加させていただき会食をいたしました。

3月31日に江川ハル様の大好物の天ぷらをメインディッシュに、前菜にはさくらゼリー、ズワイ蟹、祝い椀には紅白そめん、鯛のお造りに、お祝い膳にはやつぱりこれ、赤飯に手作りケーキ添え、梅酒で乾杯して江川様

の百歳をお祝いしました。江川ハル様からは、「こんな美味しいもの、自分の家では作れないね」と、満足していました。午後から賀寿贈呈式が行われ、福島県県北保健福祉

事務所健康福祉部長の千葉様始め、各団体の皆様より、数々のお祝い金と記念品をいただき、江川様はその都度、お一人おひとりに笑顔で、お礼の言葉を返され、終始にこやかなお顔でした。

最後に、ご家族の舟山様から謝辞があり、江川ハル様からも「今まで元気に過ごせたのは、皆様のお陰です。ありがとうございます」とお礼の言葉がありました。これからも素敵なお顔と

すばらしい歌声を聞かせてください、いつまでお健やかにお過ごしくださいますよう、そして、百歳のお誕生日、心からお祝い申し上げます。

3月26日、特養のほほえみ通りで、お囃子が流れる中、春のお祭りが行われました。焼きそば、ホットケーキ、綿あめが屋台に並べられ、くじコーナーでは空くじな

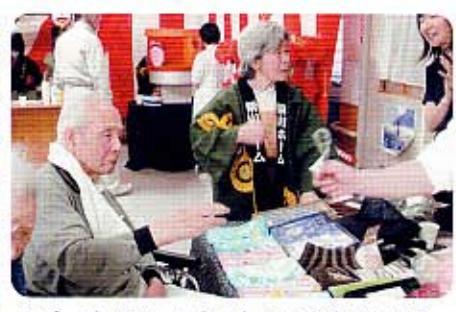


ご家族と一緒に

江川ハル様 百歳賀寿おめでとうございます

の、「おみこし担いでワッショイ、ワッショイ!」の、元気な声が響きわたり幕となりました。

ボランティアに来て下さった皆様、地域の小学生の皆さん、お蔭さまで今年も大盛況に終わりました。ありがとうございました。



いらっしゃい、いらっしゃい!おまけしておきますよ!屋台がにぎやかでした。



綿あめどうですか、ホットケーキどうですか、と両方から言われちゃ迷っちゃうよ!



元気な掛け声で、お祭りを盛り上げてくださいありがとうございました。



デイサービスセンター

手作り
あんぽ柿の
プレゼント

五十沢小学校の児童さんたちの慰問があり、歌や踊りを見せていただきたり、あんぽ柿をいただいたり、最後には肩もみのプレゼントもあり、うれし泣きする利用者さんもいらっしゃいました。



五十沢小学校の児童さんたちからいただきました



旧正月に餅つきをしました

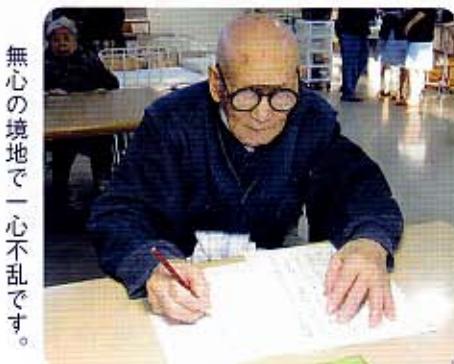
昔ながらの臼と杵を使っての餅つきに皆さんが懐かしんでいました。



利用者さんと園長のコンビ。年季が入っています。グーデス!!



つきあてのお餅はおいしいね



無心の境地で一心不乱です。

デイサービスで只今流行中はこれ!! 複写訓練(文章を書き写す作業)をしています



みて、私たちもほら、こんなにがんばっていますよ

機能訓練として半年くらい前から始めた視写訓練(文章を書き写す作業)。始めは2、3人が職員と一緒に声に出して読みながら、俳句のような短い文章を視写していました。それをおわりで見ていた他の利用者さんが興味を示し、今ではデイサービスで大流行り!! 家にもつて帰ってまでやってこられる方もいらして、「今日は宿題なのがいい?」と催促されるほどです。皆さん集中して取り組まれておられ、まわりで騒いでいるが、お構いなし。黙々と手を動かしているので、疲れないのでこちらが心配になってしまいます。すばらしい集中力!! また原稿用紙7枚の長文にも挑戦する方も現れ、まだまだ流行する予感です。



「園長さんと写真なんて、めったにないがんない」と2ショット!



新年会での鏡割りは、ケアハウスで男性の最年長の方に鏡割りをしていただきました。景気よく割つた後は園長と一緒にひしゃくで乾杯!

アトラクションの葵流京扇会様の踊りを拝見しながら、お餅とおせち料理を楽しみました。

ケアハウス広瀬

1月5日
開催新年会を

利用者全員が集い、新年会を開きました。

新年会での鏡割りは、ケアハウスで男性の最年長の方に鏡割りをしていただきました。



中にはうなぎ、しょうがの甘酢、厚焼き卵、きゅうり、桜でんぶが入っています。



今年の節分も最近流行の恵方巻を作つて食べました。男性の方は初体験だと言ひながら楽しんで作つていらっしゃいました。

出来上がりは左の写真です。これくらいにできればスーパーで売れるんじやないのと皆さんで、自画自賛でした。



だんごだから。形よく丸めようとしたけど難しかったです。



右の写真がひし寿司をつているところです。左の写真は、三色団子作りをしているところで、三色団子は上品な味に仕上がっておりしかつたです。

いつも利用者の皆さんに手伝つていただき、今回も上手に出来あがりました。



クッキーづくりをしました

どなたにでも楽しめる料理作りを取り入れて、入居者同士の親睦を図つていますが、たまに、遊び心でクッキーづくりをしてみました。



カラオケ喫茶

1月のカラオケ喫茶では、新年を祝つて、椎名正枝先生が歌に合わせて踊りも披露してくださいました。

まゆ手工芸品展示会見学



梁川分庁舎一階ホールに飾られた、まゆ手工芸品を見学してきました。

本物の花に見えるものもあり、つい、触つて「これもまゆ玉だ」と確認して納得していました。

伊達市梁川地域包括支援センター

TEL (577) 6111

振り込め詐欺、

悪質商法に注意!!

振り込め詐欺

「オレオレ詐欺」

身内を装い電話を掛け、事故の示談金などの名目で、現金を振り込ませる。



「還付金詐欺」

電話で役所を名乗り、医療費などの還付金を受け取れると言い、ATMへ向かわせる、など。

「シロアリ駆除・リフォーム」

無料で住宅を診断すると、『このままでは危険』と高額な契約を迫る。



悪質商法

「かたり商法」

多くの人を会場に集め、日用品を無料で配るなどし、興奮状態で冷静な判断ができない状況で高額商品を買わせる、など。

「催眠商法」

消防署の職員などを装い、消火器や設備品を買わせる。

● 怪しい電話がかかってきたら、必ず相手に名乗らせましょう。
● その場で一人で判断せず、親しい人に相談しましょう。
● 「いりません」と、はつきり断りましょう。
● あいまいな返事は逆手にとられる場合があります。
● それでも被害にあってしまったときには、すぐにセントラなどへ相談します。あきらめずに消費生活センターなどへ相談します。クーリングオフ制度も利用できる場合があります。



「地域支援講習会」どこへでも参ります。



伊達市梁川地域包括支援センターでは、各地区へおじゃまして、『地域支援講習会』と題し、講演や懇談会などを行っています。内容については、人数や参加者に応じて、ご希望に添えるようなご提案をさせていただいておりますので、お気軽にご相談ください。

介護保険や介護用品など、介護に関するご相談をお受けしております。どうぞお気軽にご相談下さい。

梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

TEL 024(577)6111





ボランティア紹介

去る3月3日のひなまつりの日に、伊達市健康推進員OB会の皆さんによる歌と踊りの披露がありました。

伊達市健康推進員OB会は、旧梁川町時代に婦人保健協力員として活躍されてきた方々の集まりで、当時会長を務められた志賀輝江様の呼びかけで、梁川ホームが開所して間もなくこのころから、毎年ひなまつりの時期においていただい

ています。

いつもお年寄りの皆さんにお馴染みの曲の数々に合わせて、素敵なかわせて、素敵な踊りを披露してくださいます。

中でも可愛い着物姿で踊られる、「うれしいひなまつり」はこの時期には定番の曲です。

今年は皆さんにお願いして、踊りの前に時間を取つて、踊りの前に記念撮影もしていただきました。

来年のひなまつりにも、伊達市健康推進員OB会の皆様の歌と踊りを拝見できるのを楽しみにお待ちしております。

ボランティアの来園状況

(平成20年12月～平成21年3月)

▼ボランティアひろせ様（梁川町）：窓拭き▼社団法人伊達市シルバー人材センター様（伊達市）：ケアハウス窓ガラス拭き▼橋明日香様、佐々木祐希子様、原田野々香様、木村野麦様、佐藤様（梁川町）：ほほえみ祭り▼曳地信子様（梁川町）：デイサービスで話しあ相手

クリスマス

▼ボランティアひろせ様（梁川町）：利用者介助

新年会

▼葵流京扇会梁川の皆様（梁川町）：歌謡、舞蹈

▼社団法人伊達市シルバー人材センター様（伊達市）：

餅つき▼ボランティアひろせ様（梁川町）：利用者介

助
■ひなまつり
■定期

■伊達市健康推進員OB会

様（梁川町）：歌謡・舞踊

くし会様（梁川町）：ボラ

ンティア喫茶▼梁理ホーム

会様（梁川町）：理髪▼

丹野隆雄様（梁川町）：ケ

アハウス陶芸教室指導▼梁

川町将棋愛好会様（梁川町）

：将棋クラブ▼伊達方部退

職公務員連盟女性部様（梁

川町）：入所者との対話▼

横山薦子様（梁川町）：書

道教室指導▼三浦理容店様

（梁川町）：毎月ケアハ

ウスに俳句を掲示▼鈴木順

子様、高橋邦子様、曳地信

ハウスカラオケ指導▼菅野桃李様、敦賀サト子様（保原町）：ケアハウス民謡教室指導
■遺志・ご芳志・ご寄付
ご遺志・ご芳志・ご寄付
（平成20年12月～平成21年3月）
【ご遺志】
佐藤 洋様（故佐藤 志げ様）
松浦 悟様（故松浦 ヒナ様）
小野ハツ子様（故小野 サタ様）
瀧 博史様（故瀧 デン様）
佐藤 定良様（故遠藤 太一様）
土屋 廣實様（故土屋トミヨ様）
一條 征哉様（故一條 スミ様）
松田 孝一様（故松田 守様）
橋 孝幸様（故橋 チカ様）
三浦 義広様（故三浦アキ子様）
正 大橋時男様（梁川町）：スイカ
誤 岡崎時男様（梁川町）：スイカ
【ご芳志・ご寄付・ご寄贈】
●横山いちの様（梁川町）
●ご芳志●石黒富雄様（梁川町）：電動ベッド、紙才

前回、第25号の「ご遺志・ご芳志・ご寄付・ご寄贈」の記事に誤りがありましたので訂正をお詫びいたします。

